

令和2年4月

新型コロナウイルス感染症対策のための休校に伴う 家庭学習を含む指導内容について

教育出版株式会社
小学校英語編集部

本資料は、弊社発行教科書『ONE WORLD Smiles』を令和2年度よりご使用いただく学校において、4月以降に休校措置が取られている場合に、児童が家庭でも学習できる内容についてご案内するものです。各校の指導過程の実態に合わせてご活用いただきますようお願いいたします。

※今後の状況の変化によって、資料の追加および内容の修正等を行う可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

記

■令和2年度 新5年生への対応

《外国語活動の復習と Lesson 1 までの学習範囲より》

～授業に備えて巻末絵カードの事前準備を～

教科書の巻末には授業での活動に用いる児童用絵カードが付録として付いています。(5年 Lesson 2 までの学習で、巻末の絵カードのうち最初の2枚分、アルファベットカードと12カ月のカードを使用します。)保護者のご協力が得られるようであれば、これらのページを切り離し、各カードをミシン目に沿って切り取り、名前も記入させて整理させておくとよいでしょう。

名前を書くスペースは少ないので、自分がわかるように、姓名のうちどちらかだけでよいなど指示をしておくとよいでしょう。(名前の書き方については、教科書巻末付録のへボン式ローマ字表などを見ながら、保護者の方にも手伝ってもらいながら書けるとよいでしょう。)

カテゴリーごとにダブルクリップなどで留めたいうで、カードをチャック付きの透明なビニール袋(100円ショップで買えるような台所用品)に入れ、教科書の裏表紙の内側に両面テープで留めておくなどすると、紛失を防ぎ、授業で必要な時にすぐに使うことができます。

※教師用指導書のワークシートを用いたアルファベットの家庭学習について

5年生では、文字を「読むこと」「書くこと」に初めて取り組みます。段階的に文字に親しめるよう、教科書でもアルファベットや文字の認識を高める活動を準備していますが、教師用指導書『ワークシート編』でも、5年生の後半にかけて、少しずつ練習ができるような「授業用 ワークシート」を準備しています。本来でしたら音声を聞きながら、目的を持って読んだり書いたりすることが望まれますが、家庭学習の一環として、以下のワークシートを使用してアルファベットの大文字・小文字を練習することができます。

教師用指導書『ワークシート編』「授業用 ワークシート」p.45(自分の名前)、p.48-49(大文字)、p.54-55(小文字)、p.59-60(大文字と小文字の組み合わせ)、p.66-67、p.70-71、p.81-82、p.88-89、p.96、p.102、p.103。なお、単調な作業にならないよう、自分や家族、友達の名前にある文字かどうか

などを考えさせるなど、目的を持って行えるようにするとよいでしょう。

なお、ワークシートの最終ページは空欄の4線になっています。これを適宜配付し、自分や家族、友達の名前などをヘボン式ローマ字で書かせることで、アルファベットの文字に親しむことができることでしょうか。児童の実態や関心に応じて、3・4年生で使用した『Let's Try! 1, 2』に掲載されているものから、意味のわかる好きな語句を見つけて書き写させる、身の回りにあるアルファベットを探して書き写させてくるといった応用活動もできます。

★「ヘボン式ローマ字で名前を書かせるための事前指導について」★

3年生で学習した訓令式ローマ字と、外国語科で使用する（パスポートなどに使用される）ヘボン式ローマ字の違いへの気づきを促し、注意深く自分の名前を書く活動については、本文書の p. 4 《Activity 2》(p. 19)の項目で指導方法の例を記しています。あわせてご参照ください。

教科書のページに沿った家庭学習の一案

以下、授業が学校で行えないことを前提に、教科書に沿って児童が家庭で取り組める内容と課題の例をご紹介します。保護者や児童の実態に合わせて適宜、ご活用ください。

【Classroom English】(p. 4)

外国語科の授業でのいろいろなコミュニケーションの場面で使用するために、覚えておきたい表現を紹介しています。中学年の外国語活動で聞いたり言ったりしていると思われる表現です。

- ① どんな英語の表現かを考えてから、以下の「まなびリンク」のサイトで、動画を見させます。
- ② 場面と意味を考えながら、気持ちを込めて動画と一緒に言うようにします。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html#001>

【Let's Start Together 1 At School】(p. 6-7)

【Let's Start Together 2 At Home】(p. 8-9)

3～4年生の外国語活動でふれてきたと思われる語句の復習ページです。1ではスポーツやスポーツに関わる言葉、教室にあるものや文房具、衣服、色など、2では家や部屋にあるもの、食べ物や飲み物、色や形などが描かれています。

- ① 絵の中で、児童が英語で言えるものがあるか考えさせ、言わせます。
- ② 英語を言えたイラストには、丸をつけさせておきます。（言い方が正しいかどうかは、あとで授業で確認することとします。）

※授業では、児童が見つめてきた英語を発表させたり、その他の語句について先生が英語を言い、児童が探す活動などをしたりするとよいでしょう。

※イラストに描かれている主な語句は、教師用指導書の『授業編』p. 8～9、『指導・評価編』p. 65に掲載しています。

【Let's Start Together 3 At a Supermarket】(p. 10-11)

【Let's Start Together 4 In the Forest】(p. 12-13)

3～4年生の外国語活動でもふれてきた、アルファベットの大きい文字と小さい文字のページです。3では大文字が、4では小文字が、見開きのどこかに、主にその文字で始まる単語のイラストに隠れています。

① 以下の「まなびリンク」で、Lesson 1のABC Songを聞きながらp. 10-11, 12-13のアルファベットを順に指ささせ、アルファベット26文字の読み方と文字の形を確認させます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html#003>

② 絵の中に隠れている大文字(小文字)を探させます。見つけられたらイラスト周囲の大文字と、絵の中の文字に丸をつけさせておきます。

※cで始まる単語としてcatのほかはcornが、pで始まる単語としてpenのほかはpigやpandaなど、複数のものが描かれていることを伝え、たくさん探せるように促すとよいでしょう。

③ 教科書巻末①のSupermarket Jingle、巻末②のForest Jingleを見ながら答え合わせができます。

④ 単語の言い方、その単語に含まれる文字の音、アルファベットの読み方については、以下の「まなびリンク」で、音楽に合わせた音声を何度でも聞くことができます。慣れてきたら巻末①②のイラストを指さしながら聞き、言えるところは言えるように練習させてもよいでしょう。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html#002>

【Lesson 1 Nice to meet you. 自己しょうかいしよう】(p. 14～23)

●Lesson 1の学習内容と家庭学習が可能な内容について

Lesson 1の学習内容は主にあいさつ・自己紹介の表現と、自分や友達の名前のつづりを伝え合う表現、へボン式ローマ字となります。I like / I don't like.... (色、スポーツ、食べ物、動物など)やI want.....などの表現は中学年の復習となりますので、教科書紙面を参考に、自分の英語での自己紹介を考えさせておくのもよいでしょう。また、教科書巻末のローマ字表を使って、3年生で学んだ訓令式ローマ字とへボン式の違いに気づかせる、自分や家族、先生や友達の名前を4線に書かせる、また、身の回りで見つけたアルファベットや英語表現を探させて書き写させたりするなどの活動をさせてもよいでしょう。

Lesson 1に関わる家庭学習向けの動画や音声(歌などを含む)は以下「まなびリンク」の該当ページで視聴することができます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html#003>

《Let's Watch》(p. 14-15) 「まなびリンク」(以下同様)に動画あり

イラストに描かれている場面で、新しい友達と自己紹介し合う動画の一部を視聴することができます。誰と誰がどんな話をしていると思うか、考えさせるとよいでしょう。

《Let's Sing -ABC Song-》(p. 14) 音声あり

おなじみのABC Songです。上記リンクから音声を聞きながら紙面の文字を指さしていくなどして、

文字の形を意識しながら歌を聞いたり一緒に歌ったりさせるとよいでしょう。

《Let's Think 1》(p. 15)

好きなスポーツや動物、食べ物、ほしいものなど、クラスの友達にどんな自己紹介をしたいかを考えさせます。p. 16-17 に描かれているものや、p. 112-115 の My Word Bank に描かれているものなども参考に、自己紹介のためのメモを作らせておくとよいでしょう。

《Let's Say It Together -What color do you like?-》(p. 17) 音声あり

What (color/sport/animal/vegetable) do you like? -I like....というやり取りを音楽に乗せて練習できる音声を上記「まなびリンク」で聞くことができます。この表現は外国語活動で学んでいます。後についてリピートできるポーズがあるので、自宅で何度も聞きながら練習させるとよいでしょう。家族が好きなものについて予想して、尋ね合う活動を促してもよいでしょう。

《Activity 2》(p. 19)

※関連して名前の書き方の指導として教師用指導書『ワークシート編』のうち「授業用 ワークシート」p. 45 を使用することができます。

- ① 巻末②の「ローマ字表 (ヘボン式)」を見させて、3年生で習った訓令式とヘボン式が違う文字マーカーなどで色をつけさせます。
- ② 自分の名前に含まれる文字に丸をつけさせます。
- ③ 4線に気をつけながら、巻末①の「アルファベット表」を参考に、「授業用 ワークシート」p. 45 に自分の名前を書かせます。教科書の裏表紙にある「名前欄」や4線ノート*などに書かせてもよいでしょう。
- ④ 発展として、家族や友達、先生の名前を4線上にヘボン式ローマ字で書かせることもできます。

*教師用指導書『ワークシート編』の最終ページに4線のページがあるほか、同『指導・評価編』のCD-ROMに4線のデータを収録しています。

《Final Activity》(p. 20) 動画あり

同年代の子どもたちが自分の名前や好きなもの、ほしいものなどを実演する動画を視聴できます。これをお手本として見せ、短くてもよいのでクラスみんなに発表したいことを考えたり練習したりすることを促すことができます。

《The Alphabet》(p. 21)

【1】宿題として行うことができます。

【2】以下のような学習を促すことができます。

- ① 紙面に掲載されているものの読み方を考えさせる。
- ② 描かれているものを3つに仲間分けできることを伝え、内容を考えさせる。

答え：大文字をアルファベットの読み方で読む略語の例、英語そのものの語句、日本語をローマ

字にしたもの

【3】宿題として行うことができます。

p. 14 の下部をヒントに（または自力で）アルファベットの順に線をつなぎます。

【5】宿題として行うことができます。

教科書紙面または4線などを利用して練習させます。単なるドリルにならないよう、それぞれの文字を名前に持つ家族や友達や先生がいるかなど考えさせながら取り組ませるとよいでしょう。

注：【4】は音声を使う設問なので授業で指導をします

■令和2年度 新6年生への対応

《5年生の復習と Lesson 1 までの学習範囲より》

～授業に備えて巻末絵カードの事前準備を～

教科書の巻末には活動に使える絵カードが付録としてついています。保護者のご協力が得られるようであれば、これらのページを切り離し、各カードをミシン目に沿って切り取り、名前も記入させて整理させておくといよいでしょう。

名前を書くスペースは少ないので、自分がわかるように、姓名のうちどちらかだけでよいなど指示をしておくといよいでしょう。

カテゴリーごとにダブルクリップなどで留めたいうで、カードをチャック付きの透明なビニール袋（100円ショップで買えるような台所用品）に入れ、教科書の裏表紙の内側に両面テープで留めておくなどすると、紛失を防ぎ、必要な時にすぐに使うことができます。

※文部科学省教材の『We Can! 1』のワークシートを配布して、アルファベット、また音声で慣れ親しんだ語句や表現について音声を思い出させながら読んだり書いたりする復習をすることもできます。

※教師用指導書のワークシートを用いた家庭学習について

5年生では、文字を「読むこと」「書くこと」に初めて取り組みます。段階的に文字に親しめるよう、教科書でもアルファベットや文字の認識を高める活動を準備していますが、教師用指導書『ワークシート編』でも、5年生の後半にかけて、少しずつ練習ができるような「授業用 ワークシート」を準備しています。本来でしたら音声を聞きながら、目的を持って読んだり書いたりすることが望まれますが、家庭学習の一環として、以下のワークシートを使用していただくこともできます。

教師用指導書『ワークシート編』『授業用 ワークシート』 p. 45～p. 53 は6年 Lesson 1 に対応した内容になっています。好きなスポーツや動物、食べ物等についての語句およびやり取りの表現を復習しながら読んだり書いたりすることができる内容ですので、これらを家庭学習の一環として使っていただくことができます。できるだけ音声を思い出しながら、好きかどうか考えながら、そして英文では自分のことを表現させるという主旨でお使いいただき、単なる「練習」にならないようにするとよいでしょう。

なお、児童の実態に応じて、アルファベットの書き方から復習が必要な場合は、5年生用のワークシートもご利用いただけます。

ワークシートの最終ページは空欄の4線になっています。これを適宜配付し、好きな語句や表現を書き写させてくることもできるでしょう。児童の実態や関心に応じて、3・4年生で使用した『Let's Try! 1』や『We Can! 1』、また教科書 p. 106-107 の My Word Bank に掲載されているものなどから、言い方がわかる好きな語句を書き写させてもよいでしょう。その他、身の回りにある文字や英語と思われる語句を探して書き写させてくるといった活動もできます。

児童の実態に応じては、5年生までの学習内容の復習として、My name is....I like....I can...等、自分について紹介する英文を、いくつでもよいので4線シートに書いてくるといった課題を出すこともできるでしょう。

教科書のページに沿った家庭学習の一案

以下、授業が学校で行えないことを前提に、教科書の活動に沿って児童が家庭で取り組める内容と課題の例をご紹介します。保護者や児童の実態に合わせて適宜、ご活用ください。

【Classroom English】(p. 4)

外国語科の授業でのいろいろなコミュニケーションの場面で使用するために、覚えておきたい表現を紹介しています。中学年の外国語活動や5年生の授業で聞いたり言ったりしていると思われる表現です。

- ① どんな英語の表現かを考えてから、以下の「まなびリンク」のサイトで、動画を見させます。
- ② 場面と意味を考えながら、気持ちを込めて動画と一緒に言うようにします。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/6.html#001>

【Let's Start Together 1 The School Year】(p. 6-7)

3～5年生までの外国語活動でふれてきた語句の復習ページです。曜日は外国語活動でふれており、それ以外の12カ月、季節、家族、教科の言い方は5年生の『We Can! 1』での学習内容となります。これらがイラストの中に描かれているページです。家庭では以下のように復習の活動を行うことができます。

- ① 描かれているものについて、4月から3月の言い方、教科の言い方、季節や家族、曜日の言い方など、英語で覚えているものを言わせるようにします。言えたものについては丸をつけさせておきます。
- ② 自分の誕生日を英語で言わせるようにします（紙面 p. 17 を参考にしてください）。
- ③ 以下の「まなびリンク」の5年生分に収録している Let's Sing の歌や、Let's Say It Together などの音声（♪マークのもの）について、内容を考えながら聞きます。一緒に、または後について英語を繰り返したりできるとよいでしょう。動画については初めて見る内容になりますが、どんな内容か考えながら視聴してもよいでしょう。

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/5.html>

【Let's Start Together 2 At a Food Festival】(p.8-9)

【Let's Start Together 3 In the City】(p.10-11)

3～5年生の外国語活動でもふれてきた、アルファベットの大文字と小文字のページです。2と3のいずれも、下部に掲載されているもの（食べ物や国、人、町にあるもの、建物など）が、イラストに描かれています。

- ① イラストをよく見て、英語で言えるものを探して丸をつけさせます。下部に書かれているアルファベットや単語を手掛かりにしてもよいでしょう。
- ② ページ下部に記載されているものは、教科書巻末①の Food Festival Jingle、巻末②の City Jingle に単独のイラストがアルファベット順に並んでいます。これを見ながら、再度、イラストのどこにあるか、探させることができます。
- ③ 単語の言い方、その単語に含まれる文字の音、アルファベットの読み方については、以下の「まなびリンク」で、音楽に合わせた音声を何度でも聞くことができます。慣れてきたら巻末①②のイラスト

を指さしながら聞き、言えるところは言えるように練習させるようにいしてもよいでしょう

<http://kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/eigo/6.html#002>

【Lesson 1 Let's be friends. 自己しょうかい】(p. 12～21)

Lesson 1 の学習内容は、主に 5 年生までで学習してきた内容の復習として、好きなこと (I like....) やできること (I can....), 得意なこと (I'm good at....)などを伝え合うなどです。教科書紙面を参考に、どんな自己紹介をしたいか考えさせておくとよいでしょう。

Lesson 1 に関わる家庭学習向けの動画や音声 (歌などを含む) は以下の「まなびリンク」の該当ページで視聴することができます。

<http://kyoiku-shuppan.info/m-link/eigo/6.html#003>

《Let's Watch》(p. 12-13) 動画あり

6 年生で転入してきた友達 (マイク) と自己紹介し合い、仲良くなっていく動画の一部を視聴することができます。誰がどんな話をしていると思うか、考えさせるとよいでしょう。

《Let's Say It Together -What do you like?-》(p. 12) 音声あり

好きなもの (教科、動物、食べ物など)、できること、得意なことなどについてのやり取りの表現を練習できる内容です。いずれも 5 年生での復習となるので、上記リンクから音声を聞きながら内容を考えさせ、できれば後について言ってみるなどさせるとよいでしょう。

《Let's Think》(p. 13)

好きなことやできること、好きな場所など、5 年生までに学んだことを用いて、クラスの友達にどんな自己紹介をしたいかを考えさせます。p. 14-17 に描かれているものや、p. 106-107 の My Word Bank に描かれているものなども参考に、メモを作らせておくとよいでしょう。

《Activity》(p. 16-17)

先生や友達に自己紹介をするための準備として、5 年生までに学習してきた「好きなもの」「できること」「誕生日」を紹介する言い方の復習をさせます。紙面に描かれているものをヒントに、好きなことや好きではないこと、できることやできないことを家族と伝え合ったり、言いたいことを考えて準備をさせたりするとよいでしょう。

《Let's Read and Write》(p. 18) 音声あり 《Final Activity》(p. 19)動画あり

紙面に掲載されているマイクとアヤの自己紹介シートに基づいて、自己紹介し合う様子を「まなびリンク」の動画で見ることができます。これをお手本に、自分ではどんな自己紹介をどんなふうに行いたいのか、考えさせたり、練習させたりするとよいでしょう。また、「まなびリンク」Let's Read and Write では、ワークシートに書かれた英文が読み上げられるので、音声を聞きながらワークシートの英文を指で追うなどの課題を行うこともできます。

紹介したい内容が決まったら、教科書巻末のワークシート①の下書きとして、発表内容を4線シートなどに書かせておくこともできます。教師用指導書『指導・評価編』のCD-ROMには、教科書巻末ワークシートと同じデザインのもの（お手本の英文一部は除いたもの）も収録しています。これを下書き用ワークシートとして配付し、発表の下書き用に使っていただくこともできます。

《Sounds and Letters》(p. 20)

【1】 英語とカタカナ語との音声の違いについて考えさせておくことができます。

《Review》(p. 21)

【1】【2】 宿題として行うことができます。

以上